

グループ「中国だい好き」

ホーム 基本情報 イベント 活動紹介 問い合わせ

「グループ中国だい好き」10年中国旅行



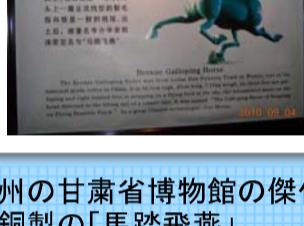
「グループ中国だい好き」
10年度旅行は 蘭州、敦煌と西安の旅

9月3日(金)～10日までの8日間実施。

今回はシルクロード河西回廊四郡の蘭州
武威 張掖 敦煌～その出発点の西安を
訪ねました。

中華民族発祥の地でもある甘肃省には世界遺産や文化遺産も豊富で、中国と西洋の文化交流や貿易往来の重要な陸のルートとして元獎(三藏法師)が経典を得る旅をし(西安から)、それは日本の仏教界にも多大な影響をもたらした歴史的なところです。

西安では秦始皇帝の兵馬俑博物館や楊貴妃の華清池を観光。西安と日本の交流も古く遣隋使や遣唐使が派遣されその足跡を沢山見ることができます。



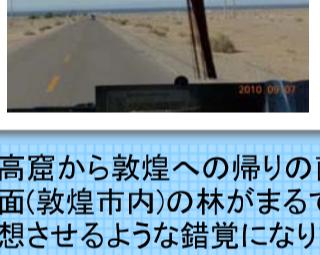
蘭州の甘肃省博物館の傑作
青銅製の「馬踏飛燕」。
天空に身を躍らせる勇姿。
単騎千里を走り燕をも踏みつけて
飛ぶがごとし。戦場に如何に軍馬
が必要か。



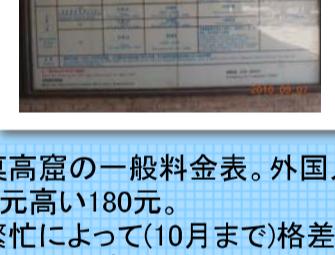
著名なお寺の中で。
地元から輩出され、科挙にも合格
した人々。



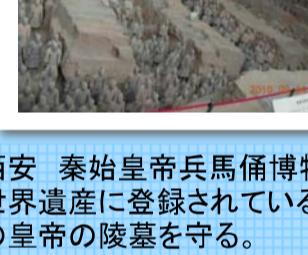
シルクロード陸路と海上ルート。語源となった中国の絹、茶や磁器、中央アジアを経由して西欧に伝わり、極東にも西方の文化や物産が伝わった。



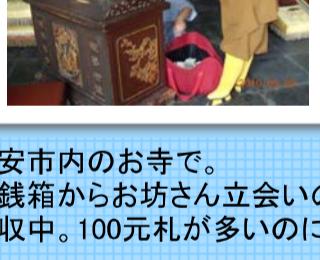
莫高窟から敦煌への帰りの直線、正面(敦煌市内)の林がまるで海を連想させるような錯覚になりましたが、キャラバンも蜃気楼が発生した時はどうしたか。



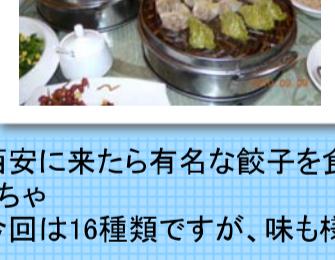
莫高窟の一般料金表。外国人は20元高い180元。
繁忙によって(10月まで)格差。
特別有料窟は150から200元もする
が将来値上げの話もあるとかで、
観光客はあふれていた。
地元の一般人の年収は幾らか?



西安 秦始皇帝兵馬俑博物館。
世界遺産に登録されている中国初の皇帝の陵墓を守る。
1974年に井戸を掘っていた農民によって発見されたが、その1人が出版物にサインしていた。



西安市内のお寺で。
賽銭箱からお坊さん立会いの下で
回収中。100元札が多いのにびっくり。



西安に来たら有名な餃子を食べな
くちゃ

今日は16種類ですが、味も様々



北京空港で珍しく見つけた飲料の
自販機。5元くらいが中心で硬貨も
OK. 又汚れたお札も判別。
中国では硬貨よりお札が多い。



敦煌までの途中、ハミなど干しブドウほか買うよりサンプルを食べる

のに忙し。甘くて最高。



蘭州から敦煌までおよそバスで1200K以上。ゴビの中をただひたすら走る。かつてはラクダによるキャラバンで。

稼ぎ時にドライバーはさすがに帰りはダウン。

遠方はチベット族の集落。

懸壁長城。
万里の長城、西端の関所・「かよく
かん」から20Kゴビ灘の中に。まる
で鉄壁を空に引っかけたように見
える。約45度の傾斜。同行の女性
二人が頂上に狼煙を上げた(あ
っぱれ)